

平和・人権  
社会・宗教  
政治と暮らし  
分かち合い

No.51

# 共に生きる

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10／瀬下幸弘 FAX093-622-1290

むつき  
睦月  
**1**  
2015



新年あめでとう  
ございまます

人権と平和を基軸に  
2015年も様々な  
ニュースをお届けします  
これからもよろしく

## 沖縄4選挙区の基地反対候補が勝利

反面明るい二コースも入りました。辺野古から北へ1時間の東村高江。「標的の村」に登場する伊佐真次さんが今年9月村議会議員に当選しました。そして『沖縄タイムス』2014年12月17日2面に「高江集落通行認めず/着陸帯工事東村長「体張る」」東村議会では、伊佐真次議員の質問に対し伊集村長から、村道の工事車両通行について「われわれは体を張つて阻止しないといけない」との答弁があつたそうです。(やんばる高江の現状より)この小さな村の大きな闘いが沖縄を動かし、日本を軍事同盟の呪縛から解き放つこととなることでしょう。

この沖縄の選挙結果は安倍総理を「大変残念」と言わせたほど画期的なものだったのです。ところが政府は沖縄県民の意思に反し、辺野古の新基地建設を進めようとしています。どこまで沖縄県民を侮辱するのでしょうか。

12月14日の衆議院議員総選挙で、オール沖縄（沖縄に新たな基地反対）候補4人が、小選挙区で自民党候補者全員を落選させました。翁長新知事誕生日に続く勝利です。保守も革新も越えて一つになり、日米両政府を相手にして戦い勝つことは、武力によらない真の平和への道を開いたものとして大きな意義があります。沖縄基地問題を考えることは、平和憲法を生かす道であり、沖縄の自然を守る道であり、沖縄の観光経済をより発展させる道に通じるものです。今後は、沖縄にならった選挙方式が全国に広がることを応援したいと思います。

「大変残念な結果」と安倍総理

この結果は平和への道と続く



高江N1ゲート座り込みテントに、全国からの応援メッセージを貼るシスターたち。

### 1月のお知らせ

- ◆1月11日(日)原発ゼロをめざす署名行動(JR黒崎駅前)…13時
- ◆1月13日(火)社会福音部会(アドラック)…13時30分
- ◆1月18日(日)日本とコリアを結ぶ会公開学習(下関勤労福祉会館)  
北九州司祭と信徒の懇談会(カトリック小倉) 14時30分
- ◆1月24日(土)キリスト者9条守りたい(西南KCC)…14時
- ◆1月25日(日)北九州市長選挙投票日
- ◆2月7日(土)下関アムネスティ(下関市民活動センター)…14時  
教科書問題シンポジウム(小倉ムーブ5F)…14時

### 援助修道会 黒崎修道院閉鎖

2014年12月末日をもって黒崎修道院を閉鎖することとなりましたのでお知らせ致します。(2面 修道院長のご挨拶掲載)

### 1月11日:イチイチ祈りの会

場所は黒崎教会小聖堂、ミサ後。  
どなたでもお出でください。

# 援助修道会、北九州八幡での80年の歴史に終止符

## 新たな派遣先へと出発



新しい年のご多幸をお祈り申し上げます。

感謝のうちに

援助修道会黒崎修道院

柏瀬百合子

援助修道会のシスター方に  
は私たちもいろいろお世話を  
なりました。感謝申し上げま  
す。新たに派遣された場で  
のそれぞれのご活躍をお祈り  
申し上げます。編集部

主のご誕誕をお喜び申し上げます。  
神の愛するひとり子イエスの祝福と恵みが豊かにありますように

神の恵みを受け、援助修道会が福岡教区に定着してから、やがて傘寿を迎えることになります。これまで、教会、老人ホーム、幼稚園を通して信徒の皆様、また地域の皆様方の中で、「ヨセフさん」の愛称で、とても親しまれて参りましたが、社会の少子高齢化に伴い、私たちも高齢化が急速に進み、使命を果たすことが困難となり、この地での歴史を閉じることになりました。長い間に築かれた絆は断ち難いものですが、キリストのうちに在つて、これからも、祈りを通して、皆様と繋がつていけたらと望んでおります。これまで、共に歩み、支えて下さった皆様へ、お別れのご挨拶を申し上げます。

新しい年のご多幸をお祈り申し上げます。

2013年11月9日 下関講演

※編集の都合上、講演内容  
の要点を掲載しています。  
文責／編集部

## 日本軍「慰安婦問題」とは何か

山下明子さんがその問題点を語る(14)



### 前号のポイント

橋下市長発言以降、慰安婦問題をもっと知ろうと良識ある人たちの関心が高まってきた。国際社会でこれだけ言われてきていることを自分たちが知らないだけではなかろうか、と。

その意味で橋下市長発言は転機となっています。但しいわゆる右側からのリアクションも非常に大きいのです。

次に「人権皆無の社会からの自立」について。実は私、インドの一番下の階層カースト女性たちの調査研究を20年以上しています。彼女たちの運動にずっと関わって調査をし、グループを作り1年おき位に研修ツアーを行う活動をしています。そこで見てきたことは、世界人権宣言のひとつも守られていない大変な状況下におかれている人たちです。その人たちがここから変わってくるんです。自分の中に、ものすごく大きな変化をされてくるのです。“これが人権なん

だ”とわかった時が変化なんです。外からどんなに支援していてもアムネスティも支援しようとしたが何も変わりませんでした。自分たちが変わらないとダメなんです。そういう意味では「慰安婦」被害者たちのたくさんの証言集がありますし、裁判記録もありますが、ほとんどの方がその「慰安婦」にされる経緯、名乗り出ることができます。その60年間は人権ゼロの中で生きてこられました。きょう食べて生きていかなければなりませんし、身体を売らなければ生きていけない人たちもいました。ソン・シンドさんなどは「なんであんな目に遭ったんだろう」ということでお酒を飲み胡散をはらしながら、これではどうしようもないということで裁判に訴えたわけです。そういう状況の中でそこから自立して人権とか正義というのがわかってこられ、ここから本当に変わったんです。むしろ私たちのほうが勇気をもらいます。水曜デモの代表の方も言われていますが「私たちのほうが癒されます。この水曜デモの場は癒しの場であり連帯の場です。」(次号へ)

## Voice of TAKAE

No.2



2014年1月31日改定版より

## 「東村高江と米軍基地」

高江は人口約150名で、中学生以下が人口の約2割を占める子どもの多い集落です。

美しい山と川に囲まれ、子どもたちのびのびと育っています。しかしこの緑豊かな高江と総面積7,800ヘクタールの米軍北部訓練場（ジャングル戦闘訓練センター）は隣り合わせにあります。北部訓練場はジャングルでの戦闘訓練を目的に、1957年に使用が始まり、その3年後にはベトナム戦争でのゲリラ戦の訓練が行われました。北部訓練場には22カ所のヘリパッドがあり、区民は爆音や墜落の危険にさ



写真はN-1裏ゲート前の座り込みテント

(11月8日撮影)

「この山の鳥たちなど野生生物に異変がおきています。」と話す糸数さん。



日本漫画家協会  
日本漫画家会議



にし やま すすむ  
**西山 進**

さんの漫画しんぶん No.92より



核の傘は  
核兵器そのもの

消費税率を10%に引き上げることを自民、公明、民主の3党が成立させた消費税増税法。安倍首相は2017年に税率アップをもくろんでいます。そもそも、消費税とはどういうものなのか、なぜ消費税を取らねばならないのか、税率があがるとどうなっていくのかなど様々な問題を、人権と平和の立場からわかりやすく説明していただくための新コーナーを作りました。「共に生きる」紙読者でもある安永亮先生に新年号(51号)から寄稿いただきます。

読者の皆さん、はじめまして。税理士の安永亮と申します。瀬下さんとは八幡西区革新懇で知り合い、縁あって寄稿させていただくことになりました。これからよろしくお願ひ致します。

今、税などの公共的負担が事業や生活を圧迫し、その重さに悩み苦しんでいる方が増え続けています。消費税、所得税、県市民税、固定資産税、自動車税、酒税、ガソリン税など、私たちは多くの税を負担しています。その他に、国民年金保険料、国民健康保険料又は社会保険料、介護保険料など〇〇料というものも負担しています。

主権在君の封建主義国家では、君主が領民から必要に応じて税を取り立て、君主が気ままにその使途を決定するのが当たり前でした。領民の為に使うのは、あくまで君主のお慈悲の賜物に過ぎませんでした。

しかし、主権在民の立憲主義・民主主義国家で



安永 亮 税理士事務所  
安永 亮 所長

は、税などの公共的負担とその使途はそもそも憲法の内容に沿って行われなければならないはずです。多くの人たちが「国にお金がないのだから仕方がない」とあきらめていますが、「国の必要に応じて」税を取り立てていいのでしょうか？

私は、主権者である国民がその負担に苦しめられている現状に疑問を持っています。

税の問題を考えることは、私たちに国のいいなりにならない主権者であるという自覚を促し、私たちひとりひとりに幸福を追求する権利=人権があるという明確な意識を持つことにつながっていると思います。近代市民革命は、そうした個人の意識によって成し遂げられました。

今こそ、国民ひとりひとりが主権者として、人権の担い手として考え方行動することが必要な時が到来しているのではないかと痛感しています。

次回から憲法の規定について考えて行きましょう。



### 《アムネスティ》下関通信 (No. 9)



前号でお知らせした、危機にある個人をはがき書き運動で救う、世界最大の人権イベント「ライティングマラソン」。12/6日の下関会場には、行橋から参加のスコットランド・アムネ会員の女性、会員外の男女市民を含め計13名、105枚の参加ができました。

14年の選定被害者は12名。(デモ参加が理由で拷問、懲役20年刑のウズベキスタンの青年、妊婦の適切な健康管理がなく死亡する南アフリカの女性達、殺虫剤工場の有毒ガスで健康危機にあるインドのコミュニティ、人権差別と闘うギリシャのロマ女性、他中国、ナイジェリア、フィリピン、米国、ノルウェー、サウジアラビア、ペネズエラ、アラブ首長国連邦の被害

者達)。作業中は、時々机上の地球儀もまわしながら、自ずと気持ちがひとつになってゆく静かな午後のひとときでした。

毎年々末のクリスマスシーズンに行われる、あたかも大海のひとしづくを集めるようなこの小さくて大きな人助け運動。被害者達に来年確かな状況改善が起こりますように。 (2014.12.23 アムネ下関、山県)



## 何しに帰省？(中)

11月終わり頃、1歳の子を連れて沖縄から一時帰省しました。少し歩けるようになったR君といろんなところに行こうと思っていたのですが、4~5日経って様子が変です。R君がノロウイルスに。そして8日間入院生活、せまいベッドで過ごしました。母と父はお見舞い日々洗

濯物や私の食べ物の運搬係で迷惑をかけてしまいました。やっと退院したかと思ったら、今度は風邪をひき…。そして12月21日に沖縄へ。この3週間何だったのでしょうか。これからは、寒い時期は南の国で過ごすことにします。なんともバタバタした帰省でしたが、とても良い体験ができました。

それでは皆さま、2015年もよろしくお願いします。



## ツイッター

### 「共に生きる」内容豊かで 勉強になります。(横)

2014福岡大会報告書をいただきました。活発な活動に拍手。現地学習「筑豊 強制連行」を読み、筑豊の各地には多くの遺骨が放置されたまま…日向墓地のボタ石だけのお墓には胸が締め付けられます。また、下関学習の在日コリアン1世の方のお話も聞きたいたいと思いました。戦時中、わたしたち子どもはわけも分からず、朝鮮の人を馬鹿にしていました。チマチョゴリに先の尖った靴を履いている人が通ると、陰で「チヨウセンが歩いている」とか「ニンニク臭い」とか、今振り返ると本当に申し訳ないことでした。

「共に生きる」これからもよろしくお願ひいたします。

### そうか、消費税って大変やね！(店頭客)

「今年は消費税取るの？」年賀状注文のお客さん。「売り上げが減っても家賃など固定費全部に消費税が年間だと相当な額なんです。」「そうか、だからシャッター街が増えるんだな。消費税って大変なんや。」

## お知らせ

### 【ホームページアドレス変更について】

これまで共に生きる紙のホームページは、読者の方のご好意で、掲載して下さっていました。この度、その「ホームページアドレスが変更になります」との連絡をいただきました。新しいアドレスは <http://tabisurukyoukai.sakura.ne.jp/tomoniikiru/> です。

編集部メンバーは、パソコンのインターネット関係は不得手ですので、読者の善意に頼るしかありません。ただし掲載される時期が発行日よりも多少遅れるかもしれませんので、あらかじめご了承ください。

## 医学生だからこそ (横浜S)

12月号「共に生きる」を私のいるキリスト教文化センターでさりげなく、それでいて学生の目につくところに置いています。次に発行された時、お送りくださるうれしいです。

特に彼らは医学生なので、いのちについて、平和について幅広く考え、理解していくほしいと願っています。近づく衆院選挙に関しても関心がうすくて、棄権しないようにねと私は叫んでいるのですが…(12月9日)

## 京都府議会も…品位はどこへ(編集部)

12月24日、自民党会派提案の「『従軍慰安婦』問題のさらなる真相解明と早期解決を求める意見書」を1票差で可決してしまいました。今年8月に朝日新聞が「吉田証言」報道の記事取り消しを受け、自民・維新の党など29人が賛成したのです。昨年3月に「慰安婦」問題の早期解決を求める意見書を採択した良識ある京都府議会が、ある意味真逆の採決をしたのです。世界からみれば品位品格をも問われる行為。第3次安倍内閣誕生に合わせた京都府議会の自民や維新は品位どころかその資質も無いのでしょうか。

## 年末の片付け (R)

狭いマンションを広く使うには、大きな家具を処分して小さな物に代えることですね。

一昨年は本棚を処分、必要な本だけにしました。昨年は3つの洋和ダンスを処分し、小さな洋服掛けボックスに。みごとに部屋が広く明るくなりました。そして今年はキッチンにあった大きな食器棚を、850円程の3段ボックス2個に替えました。必要な食器類が十分収まっています。生活に必要なものは、わずかなものだとつくづく実感しました。多くの物を持たないと不安と思い込まされていたのかも知れません。持たないほうがもっと豊かになれるよう思えてきました。同様に人生もそうかも。いろんな情報に振り回されて生きるより自分のスピードで味わって生きたいです。私の砂時計で…。



## ご協力感謝

共に生きる紙の2014年の発行と送料等の経費は約26万円でしたが、読者の皆様の支えがあり発行できました。感謝申し上げます。北海道、東京、大阪、山口、福岡と全域に読者が広がっており、これからも少しずつ広がっていきそうです。現在2ヶ月分の発行費はありますがその後、厳しくなりそうです。

ほんの少しでもかまいませんのでカンパをいただけすると有り難いです。

よろしくお願ひします。

## 東アジアの平和と福音的展望

韓国国民1%の済州島民と東アジアの平和実現を夢見ながら



カトリック韓国済州教区長

カン・ウイル司教

※文責／編集部

(3)

### 〔国民という言葉〕

セウオル号遭難者たちの「国民の命が守れない国家は国家ではない。そんな国に住みたくない。」その言葉を聞いた時、「国家とは一体何か」という問題をあらためて考えさせられました。国家は、国民のために国民の命や財産を守るために存在するのではないはずだと思いません。セウオル号遭難者たちは、この國民という言葉が少し問題があるのではないかと思います。日本で國民という言葉がどの程度使われているのか知りませんが、日本で國民という言葉が少し問題があるのではないかと思います。この國民という言葉が少し問題があるのではないかと思います。

この世で、人間の命を勝手に奪い取る権利は誰にもない、たとえ国を超える、国家が存在する以前に、国家に権威や尊厳を与えるが、人の命であるという認識が、基本的に何千万の人類の犠牲によつてようやく浮き彫りにされてきたのではないかと思います。

1948年12月10日、国連は50ヶ国の連名で世界人権宣言を発表しました。この人権宣言の背景は、2回にわたる世界大戦、特に600万人のおよぶユダヤ人を含む無実の民間人虐殺事件を背景として、これがあまりにも大きい非人道的犯罪であり、国民を保護するための国家が、国民を人間以下、獸のように殺戮したことは許されることのできない犯罪だ。そういう思いが50ヶ国の指導者の間に、ひとつつの結論として生まれてきたのではないかと思います。

人類歴史上で昔から大量虐殺を行った犯罪は数えきれないほど繰り返されました。国家間の戦争が行われたとき、軍人よりも、無防備の民間人が災いを受け殺害されているということが多々あります。平素、正常な人間にとつては殺が、戦争の場合、国家が動員した軍隊によつて行われます。世界大戦の後の戦争、ベトナム戦争、ボスニア戦争、イラク戦争、アフガン戦争、アフリカの各地で内戦、イラク、シリアの内戦によつて今でも民間人の虐殺が行われています。そのような大量虐殺は、大部分が国家の名で、あるいは民族の名で、あるいは国家の安保イデオロギーの中で行われています。

## リレー『平和への手記』

20世紀前半、人類は2回にわたる大戦を通して一つの大きな真理を学んだと思います。数えきれない人の命を亡くしてから、人類は「この世で何よりも大切で最高の価値を持つものは人間の命である」ということをやつと少し悟つたのではないかと思います。

### 〔国家とは〕

時代には、國民という言葉はあまり使われていなかつたと思います。日本でも、朝鮮王朝時代にはなかつた言葉で、新しく取り入れられた言葉です。國民という言葉は、國の民という意味なので、どちらかというと、國家のほうに重点がおかれており、國家を成立させるために存在する民、國家を維持する民という國家が優先され、民が後回しになつてゐるのではないかという気がします。

20世紀前半、人類は2回にわたる大戦を通して一つの大きな真理を学んだと思います。数えきれない人の命を亡くしてから、人類は「この世で何よりも大切で最高の価値を持つものは人間の命である」ということをやつと少し悟つたのではないかと思います。

12月15日朝刊1面見出し、讀賣は「自公圧勝」、朝日は「自公大勝」。まるで国民が安倍政権を圧倒的に支持したかのようです。明らかに小選挙区制によってほんの少し多数を得た党が議席を奪い取つた虚偽の数字です。大手マスメディアの役割として民意切り捨ての仕組みをはつきりと示してほしいものです。ところで安倍首相は何故突然解散したのでしょうか。絶対多数議席があつても、時が経つにつれ、民意とかけ離れていることが鮮明になることを恐れたのだと思います。自公政権は選挙結果で信任を得たと勘違いしないように。「天網恢恢疏にしてもらさず2015年も共に生きる紙ご愛読をよろしく。(瀬下)

## 編集後記